



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年7月28日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6111 URL <https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神谷 真二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 青木 潤 TEL 0561-52-5356
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,572	△8.9	78	△41.4	107	△29.6	70	△29.6
2022年3月期第1四半期	2,822	37.8	134	—	152	—	100	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	28.37	—
2022年3月期第1四半期	41.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,946	13,367	67.0
2022年3月期	20,140	13,560	67.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,367百万円 2022年3月期 13,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	6,600	13.1	290	3.8	320	4.4	210	3.9	84.37
通期	14,400	11.5	540	27.6	600	26.3	400	△20.6	160.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	3,088,739株	2022年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	599,790株	2022年3月期	599,703株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	2,488,999株	2022年3月期1Q	2,409,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による原油・原材料価格の高騰や世界的な部材不足等に加え、急速な円安進行など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、自動車関連部品を中心とした精密金属加工品の売上が減少したことなどから、売上高は25億7千2百万円と前年同期比8.9%の減少となりました。利益面につきましては、主に原材料価格の高騰等により、営業利益は7千8百万円と前年同期比41.4%の減少、経常利益は1億7百万円と前年同期比29.6%の減少、四半期純利益は7千万円と前年同期比29.6%の減少となりました。

セグメントの業績につきましては、精密加工事業部における売上高は13億5千3百万円と前年同期比16.0%の減少となり、機械事業部における売上高は12億1千9百万円と前年同期比0.6%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末より1億9千3百万円減少し、199億4千6百万円となりました。これは主に、棚卸資産が9億6百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億9千7百万円、現金及び預金が5億6百万円それぞれ減少したことによるものです。負債につきましては、1百万円減少し、65億7千8百万円となりました。これは主に、電子記録債務が2億3百万円増加したものの、賞与引当金が2億9百万円減少したことによるものです。純資産につきましては、1億9千2百万円減少し、133億6千7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億3百万円、その他有価証券評価差額金が8千8百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年4月28日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,659,776	5,153,662
受取手形及び売掛金	2,491,254	1,794,190
電子記録債権	572,324	743,826
製品	356,785	813,550
仕掛品	2,936,177	3,320,064
原材料及び貯蔵品	656,500	722,736
その他	95,277	151,898
貸倒引当金	△3,800	△2,900
流動資産合計	12,764,296	12,697,028
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,897,681	1,885,505
機械及び装置(純額)	1,467,251	1,387,208
その他(純額)	1,227,074	1,283,756
有形固定資産合計	4,592,007	4,556,470
無形固定資産	67,781	68,299
投資その他の資産		
投資有価証券	2,461,802	2,341,314
その他	254,751	283,713
投資その他の資産合計	2,716,554	2,625,028
固定資産合計	7,376,343	7,249,797
資産合計	20,140,639	19,946,826

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,920	885,541
電子記録債務	1,908,583	2,112,552
短期借入金	1,700,000	1,700,000
未払法人税等	216,292	51,419
賞与引当金	300,960	91,318
役員業績報酬引当金	30,000	-
その他	550,369	880,452
流動負債合計	5,624,126	5,721,283
固定負債		
退職給付引当金	856,851	847,324
その他	99,124	10,345
固定負債合計	955,975	857,669
負債合計	6,580,101	6,578,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	6,026,836	5,923,221
自己株式	△1,264,656	△1,264,852
株主資本合計	12,405,799	12,301,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,154,738	1,066,416
繰延ヘッジ損益	-	△531
評価・換算差額等合計	1,154,738	1,065,884
純資産合計	13,560,537	13,367,873
負債純資産合計	20,140,639	19,946,826

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,822,278	2,572,361
売上原価	2,260,659	2,072,534
売上総利益	561,619	499,827
販売費及び一般管理費	427,545	421,292
営業利益	134,073	78,535
営業外収益		
受取利息	249	247
受取配当金	16,778	22,226
固定資産賃貸料	10,503	9,893
その他	2,441	5,916
営業外収益合計	29,973	38,284
営業外費用		
支払利息	3,053	2,401
固定資産賃貸費用	5,064	4,691
コミットメントフィー	2,493	2,493
その他	1,274	185
営業外費用合計	11,885	9,771
経常利益	152,161	107,047
税引前四半期純利益	152,161	107,047
法人税等	51,850	36,430
四半期純利益	100,311	70,617

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表への影響はありません。